日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部

発行人：雨森 正記
事務局　〒550-0001　大阪府大阪市西区
土佐堀 1-4-8　日栄ビル 703A
あゆみコーポレーション内
Tel.06-6441-4918　Fax.06-6441-2055
E-mail　jpca@a-youme.jp
HP　primary-care.or.jp/primarycare-kinki/

ニュースレター　*No.25*（*2019.6*）

2019.5.17-19 に WONCA APR KYOTO 2019 および第 10 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会が開催され、盛況のうちに幕を下ろしました。ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。今回のニュースレターは、ご活躍された近畿ブロックの多くの先生方よりコメントをいただきました！

特集 1 ：WONCA APR KYOTO 2019 / 第 10 回学術大会を振り返って

第 10 回学術大会大会長　雨森正記（医療法人社団弓削メディカルクリニック）

令和元年になった月である 2019 年 5 月 17-19 日に国立京都国際会館において、第 10 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会が開催されました。今大会は WONCA APR（世界家庭医学会　アジア太平洋州会議）と共催という形で開催されました。私は今回の学術大会長と WONCA APR 2019 の Vice Chair を拝命しておりました。幸い好天にも恵まれ、WONCA APR は 46 ヶ国 1643 名、また学術大会も 4824 名、合わせると 6467 名というこれまでにない多数の方のご参加をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

第 *10* 回学術大会 *HP*：*http://www.c-linkage.co.jp/jpca2019/index.html*

日本プライマリ・ケア連合学会になって１０年目で初めての近畿地方での開催となり、特に近畿ブロックの皆様方には色々なご協力、ご参加をいただきました。当番ブロックということで今回近畿ブロックの功労者として水野融先生（京都）を表彰させていただきましたことは私にとりましても非常に嬉しいことでした。

今回特に観光地である京都での開催ということで、学術大会自体に参加していただける方が減るのではないかと心配しておりましたが、全くの杞憂で各会場とも多数の参加者で入場できないところもあったほどで逆にご迷惑をおかけいたしました。今回は多くの医学生や若手の方のご参加をいただきました。学会と総合診療の発展に寄与できたのではないかとホッとしております。今後とも近畿ブロックの活動に何卒ご協力よろしくお願いいたします。

JPCA 実行委員長　中村琢弥（医療法人社団弓削メディカルクリニック）

この度 2019 年 5 月に開催されました WONCA Kyoto 2019 および第 10 回 JPCA Annual Conference の JPCA 側の実行委員長を務めさせていただきました。若輩であるにもかかわらずこのような大役を務める機会を与えていただきました皆様に本当に感謝致します。おかげさまで本会はこれまでにない規模と成果によって成功のうちに終了することが出来ました。

さて、今回実行委員長という立場を拝命しておりましたが、実務においては多くの優秀な委員メンバーにタスクとして分散されており、私自身が委員長として直接の手を下すことはほとんどありませんでした。しかし、私が本会の準備期間も含めて個人的に大きく意識していたことが 1 つあり、それは「尊敬する雨森大会長のパフォーマンスを最大限に発揮すること」でした。幸い、私は大会長と同じ職場にてマネジメント職に就いていたため、普段より大会長の現場負担を少しでも軽減し、本会において力を発揮できるように裏方として大小様々動くことが出来ました。大会長としては自院の 20 周年記念のタイミングも兼ねた大切な機会となっており、相当の思いをもってこの会の運営に臨んでおられたため、委員メンバー一同にてサポートさせていただきました次第です。最後に閉会式にて雨森大会長に花束をお渡しし、1 つの任をやり終えることが出来たことが実感できました。またこの素晴らしいメンバーの皆様と一緒にこの場に立てたことを誇りに思いました。この会に関わられた全ての皆様に感謝です。本当にありがとうございました！

特集 2：WONCA/JPCA の日々

2005 年から 10 数年の時を経て

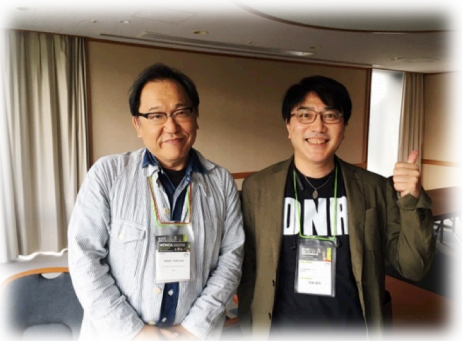
木戸友幸（愛港園診療所）

2005 年、日本で初めての WONCA は、私自身が旧プライマリ・ケア学会の理事であり、各国のプライマリ・ケアの現状と未来を語るシンポジストでもあったので、なかなかリラックスして楽しむという雰囲気ではなかった。時を経て、連合学会による今回の WONCA/JPCA である。WONCA 会長は我が盟友、伴先生、JPCA 会長は私が関西でその誠実さと確実性から一番信頼を置いている一人である雨森先生。何かの形で貢献せねばと思っていた矢先、東京の松村先生が、「総合診療のこれまで」というシンポジウムを企画してくださり、そのシンポジストを務めた。これはほぼフリートークで、気楽に終えることができた。おかげで 14 年の時を経て、まったく違う立場で参加した今回の学会は、非常にリラックスできた。聴きたい演題を自由に聴き、ロビーでは様々な国の人たちと情報交換ができた。ガラディナーの際は、私も聴講した WONCA の離島医療のセッションでの演者のオーストラリア人医師が何人か座るテーブルに偶然同席し、彼らの離島医療にかける熱い意見を聴くことができた。We are the champion.の大合唱というおまけ付きで。最後に気づいた点は、若手中堅医師の英語力の向上である。演者としても座長としても、いい仕事をしていたように思う。というわけで、今回 JPCA の確実な成長を、若手の成長と学会の進化した国際性という面で見ることができた。

学術大会　私の歩き方　～ 学術大会に期待したこと、学び、驚き、私だけの発見 ～

佐々木隆史（医療生協こうせい駅前診療所）

今回は実行委員会として、携わらせてもらう機会をいただきました。連携窓口として関わった日本在宅医療連合学会との合同シンポジウムと、企画運営から行ったインタラクティブセッション「オープントーク　30 年後の総合診療医のすがた」、ポスターセッション座長という責任を果たすことに重きを置きました。しかしながら、深く関わることで得られた学びも多く、皆様もぜひ機会あれば、積極的に参加してください。



ネット上で様々な情報を得られる時代に、遠方に集まる意味を考えることが多いです。学術集会の学びは、普段の行いが正しいのかを振り返る、新しい視点を得る、我々をリードしてくれる先生方の想いを知り、自分と絡ませ昇華させる。そういう点で、自分で企画できたのは至上の贅沢でした。中でも一番は、「価値の共創」「正しさの座標」です。薬剤投与の視点、行政連携の視点、在

宅小児の連携、そもそもの「正義」とは。当学会ならではの行政や哲学部門までに及ぶ多職種との絡みのなかで、それぞれの視点での正さや理念を総合診療医との対話を通して聞けたことです。
学而不思則罔　思而不学則殆（学びて思わざれば則ち罔し（くらし）、思いて学ばざれば則ち殆し（あやうし））。普段忙しい日常に、新たな風を吹き込む特別な時間でした。写真は「30 年後の総合診療医のすがた」でオープンなトークを繰り広げていただいた藤沼先生、尾藤先生です。

学術大会　私の歩き方　～ 学術大会に期待したこと、学び、驚き、私だけの発見 ～　学生編

浦田恵理（大阪医科大学 6 回生）

私にとって WONCA も JPCA も二度目の参加でした。家庭医療や地域医療に興味を持って間もないころに行った昨年三重で行われた JPCA。鈴木先生からのお力添えもありポスター発表させていただいた、WONCA Seoul。そのような経験をして参加した今回の学術大会は、発信と吸収を目標に臨みました。マインドフルネス、人類学、コミュニティケア、緩和医療などプライマリ・ケアの幅の広さには改めて驚きました。WONCA の WS や海外の学生と話す中で感じたことは自分の考えを持つことと英語力でした。発信したいと思えばまず自分の考えを持つことが必要ですし、それを海外の人にも伝えようと思うと英語力が必要です。それをまさに実践していた大阪医科大学 6 年の井上さんはポスター発表で見事に最優秀賞を受賞しました。同級生として誇らしく、大いに鼓舞されました。また今回 JPCA の学生セッションで発表させていただきましたが、他の学生の発表は素晴らしく同じ分野を進む熱い仲間に勇気付けられました。今回吸収したことは周りの学生に発信するとともに、それをきっかけにより自身のより深い学びに繋げられたらと思います。

Young Doctors and Students Program Committee 委員長 鈴木富雄より
Student Poster session では、どの発表も意欲的でレベルが高く、驚かされましたが、皆さん方が笑顔でプレゼンテーションされていたのが印象的で、素敵な企画となりました。参加していただいた学生の皆さん方、ありがとうございました。

WONCA サイトビジット企画　海外 GP を迎えて

中山明子（大津ファミリークリニック）

デンマーク 2 名、ノルウェー2 名、香港 1 名、タイ 1 名のお客様をご案内致しました。まず、音羽病院に行き、ER、病棟、外来を見学しました。日本の医療制度、入院期間、医療スタッフ、カルテなどについて様々な質問をいただきました。お昼は三井寺でお重を食べました。ヨーロッパの方にも、あえてお箸のみで召し上がって頂きました。（かなり苦労なさっておられました。）料理や食材の名前を英訳するのに四苦八苦しましたが、楽しく会食しました。午後は大津ファミリークリニック、グループホーム、訪問看護、居宅介護事業所を見学しました。介護保険には興味津々で、訪問入浴など日本独自の介護サービスに驚かれていました。101 歳の患者さん宅に訪問し、握手をして写真を撮りました。部屋のお仏壇などはかなり珍しかったようです。タイトスケジュールでしたが、お互いの国の医療制度や現場の悩みを共有できて、楽しい時間を過ごさせて頂きました。

田原正夫（岩倉駅前たはらクリニック）

学会場から最も近い site visit 施設の当院はデンマークと台湾から１名ずつの見学者を受入れました。午後からコーディネーターの先生と３名で来院され院内設備の説明をした後に在宅訪問診療へお連れしました。アパートや庭付き戸建てのお宅など日本の様々な住環境をみていただき、そこで療養されている患者さんの疾患や介護者、介護環境の多様性について紹介することができました。重症寝たきり症例宅で見学者は「私の国では nursing home に入られているケースです」と言われ、毎日休まず介護をされているご家族に驚かれた様子でした。日々の外来診療患者数や訪問スケジュールの話になり「なぜそんなにタイトなスケジュールで診療されているのか。私には難しいです。」とご意見いただき、わが国の自由開業やフリーアクセスと他国のシステムとの違いなどについてディスカッションができました。日本開催の WONCA にて国際交流に参画するという、とても貴重な機会を与えていただいたことに深謝いたします。ありがとうございました。

WONCA／JPCA 合同懇親会

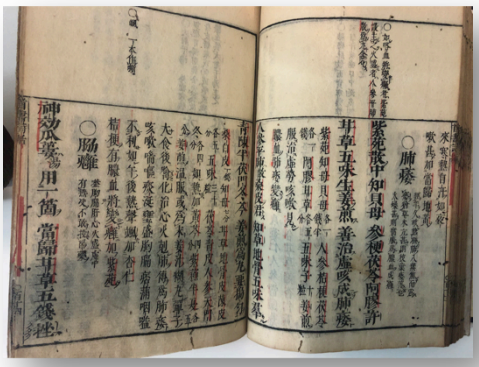
吉本清巳（奈良県立医科大学総合医療学講座）

合同懇親会は５月 18 日に行われました。シンポジウムが大変盛り上がり、少し遅れての開会となりました。大会長の雨森先生のご挨拶、JPCA の特別講演の Fogarty 先生、厚生労働省の迫井様のご挨拶を頂き、草場理事長から乾杯のご発声を頂き始まりました。国際会議場のアネックスホールで、とても広い会場ですが、550 名を超える多くの方がご参加くださいました。会員の方同士で懇親を深めて頂きたく、余興的な催しは企画していませんでしたが、フロアは大変盛況で、終始会員同士語り合う場となり、良い懇親の場になったと思います。また、会の後半では、学会理事喜瀬先生が、昨年度家庭医療専門医試験に合格された新専門医の先生を紹介してくださいました。多くの家庭医療専門医が誕生しており、頼もしい限りでした。個性ある自己紹介も非常に良かったです。草場先生から激励の言葉もありました。次回大会長田妻進先生のご挨拶の後、最後は本大会を雨森先生と伴に支えてくださった実行委員長中村琢弥先生の締めの挨拶にて、お開きとなりました。

Another side of WONCA　Sunrise Run 企画

玉木千里（京都協立病院）

2019 年５月 18 日（土）早朝７時。北米、アジア、ヨーロッパなどの各国のランナー総勢約 15 名が、宝ヶ池の藤棚広場に集い、新緑のトンネルを走り抜けました。１週１． ５km のコースを参加者の多くは３週走りきり、気持ち良い汗を額に光らせて、みんなで”good run!”と称え合いました。準備は大変でしたが、気持ち良い時間と空間を共有することができて爽快な一日の始まりとなりました。



処方集 1682 年

水野 融先生（岡田医院）ご提供、数々の貴重な歴史展示

［報告］家庭医療専攻医および総合診療専門医コース向け
第４回オリエンテーション&ポートフォリオ合宿（2019.6.15-16）　白浜荘（滋賀県高島市）

一瀬直日（赤穂市民病院）

新緑の中、近畿一円から専攻医 35 名（１年目 15 名、２年目以上 20 名）を迎えて指導医陣と総勢 61 名で専門研修オリエンテーションを行いました。ポートフォリオ作成に対する苦手意識をなくすための工夫や、ポートフォリオを自らの日常臨床に活かすための方法論を熱意あふれる講師陣より解説いたしました。【研修開始にあたって】（大竹要生）【専攻医部会幹事より】（合田建）【ポートフォリオとは】（中山明子）【ショーケースポートフォリオ実演】（徳田嘉仁）【救急コアレクチャー】（石丸直人）【研究ポートフォリオに取り組むコツ】（溝江篤・一瀬直日）【ポートフォリオ指導の仕方】（朝倉健太郎・立花祐毅）【１日目ふりかえり／先輩専攻医のよくある悩みと対策】（立花祐毅）【ポートフォリオ添削指導】（各指導医）【ポートフォリオ個別相談会】（指導医有志）を行いました。夜はバーベキュー、交流会にて所属施設、地域、世代を越えて仲良くなりました。ブロック全体で年間継続的に専攻医を指導する３大行事のひとつである本合宿の成果は、12 月の近畿地方会（兵庫県姫路市）で口演・ポスター発表とポートフォリオ添削に繋げていきます。

事後アンケートでも「自施設で指導医と眺めているのとは違う視点からご指導いただけるので、ありがたいです」など非常に高い評価を得ました。来年も是非御参加を！

［支部からのご連絡］　**ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！**

近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが更新されました！

http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/　是非、アクセスしてみて下さい。

（学会トップページ　http://www.primary-care.or.jp　上部メニュー「講演会・支部活動」から）

→詳細は、上記ホームページをご参照願います。